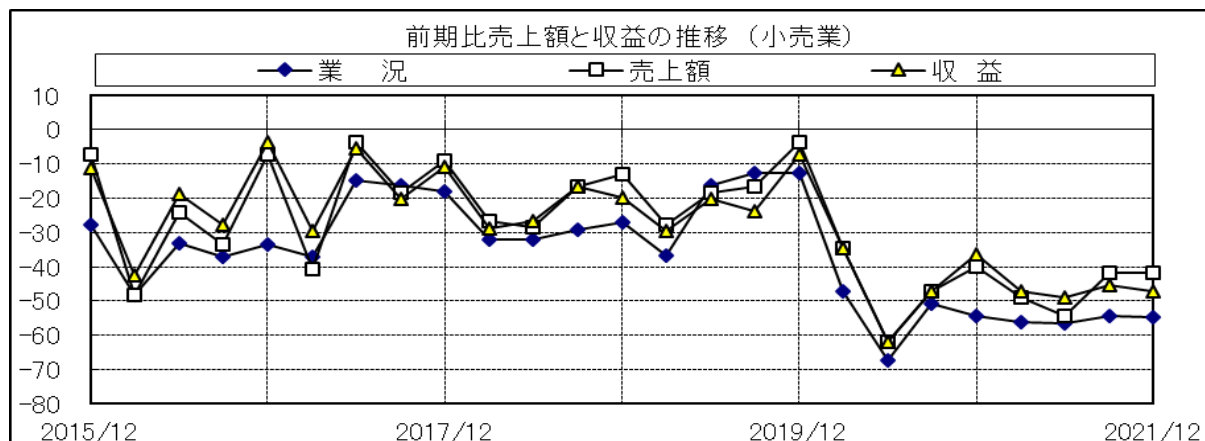


小売業 55企業（回答率 100%）の調査結果です

□ 景況

| DI 値 の推移 | 4～6月 期実績 | 7～9月 期実績 | 10～12月 期実績 | 1～3月 期見通し |
|-------------|-------------|-------------|---------------|--------------|
| 業況 | -56.4 | -54.5 | -54.6 | -56.3 |
| 売上額 | -54.5 | -41.9 | -41.9 | -40.4 |
| 収益 | -49.0 | -45.4 | -47.3 | -41.9 |

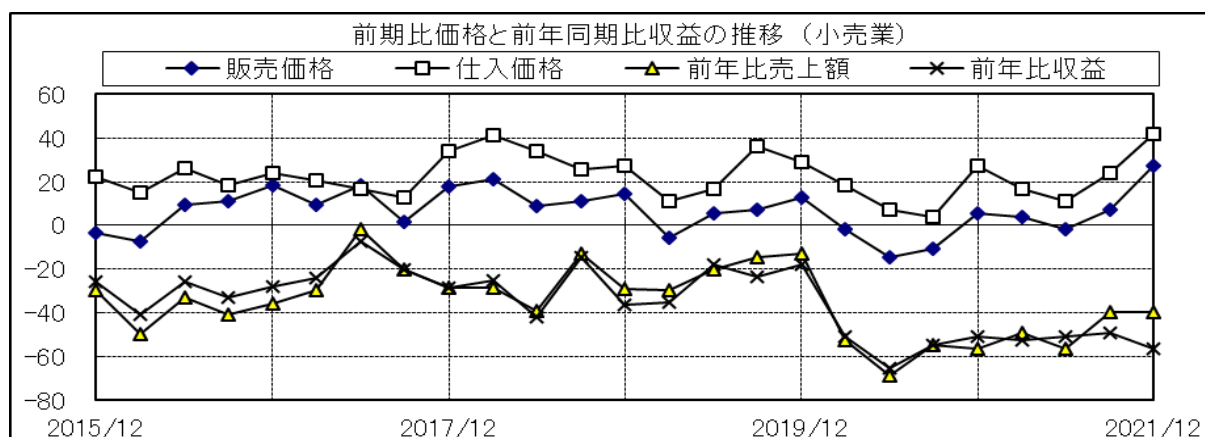
今期の業況判断 D. I. は△54.6 で、前期比 0.1 ポイント下降した。前年(△54.5)比 0.1 ポイント下降した。地区別の D. I. は高い順に、静内が最も高く、次に三石、様似、浦河、えりもと続き、広尾が最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は△41.9 で、前期と同水準となった。収益判断 D. I. は△47.3 で、前期比 1.9 ポイント下降した。



□ 価格面の動き・前年同期と比べた動き

| DI 値 の推移 | 4～6月 期実績 | 7～9月 期実績 | 10～12月 期実績 | 1～3月 期見通し |
|-------------|-------------|-------------|---------------|--------------|
| 販売価格 | -1.8 | 7.3 | 27.3 | 16.4 |
| 仕入価格 | 10.9 | 23.7 | 41.7 | 34.6 |

販売価格判断 D. I. は 27.3 で、前期比 20.0 ポイント上昇し、前年(5.4)比 21.9 ポイント上昇した。仕入価格判断 D. I. は 41.7 で前期比 18.0 ポイント上昇し、前年(27.3)比 14.4 ポイント上昇した。業種別の販売価格は、衣料・食品は上昇、家電は下降した。仕入価格は、衣料は下降、食料は上昇、家電は横這いとなった。



□ 雇用面の動き

| DI 値 の推移 | 4～6月 期実績 | 7～9月 期実績 | 10～12月 期実績 | 1～3月 期見通し |
|-------------|-------------|-------------|---------------|--------------|
| 残業時間 | -11.0 | -3.6 | -5.6 | -11.0 |
| 人手状況 | -12.7 | -20.0 | -23.6 | -16.4 |

残業時間判断 D. I. は△5.6 で、前期比 2.0 ポイント下降し、残業時間が減少したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D. I. は△23.6 で、前期比 3.6 ポイント下降し、人手不足感は強まった。

□ 設備投資の動き

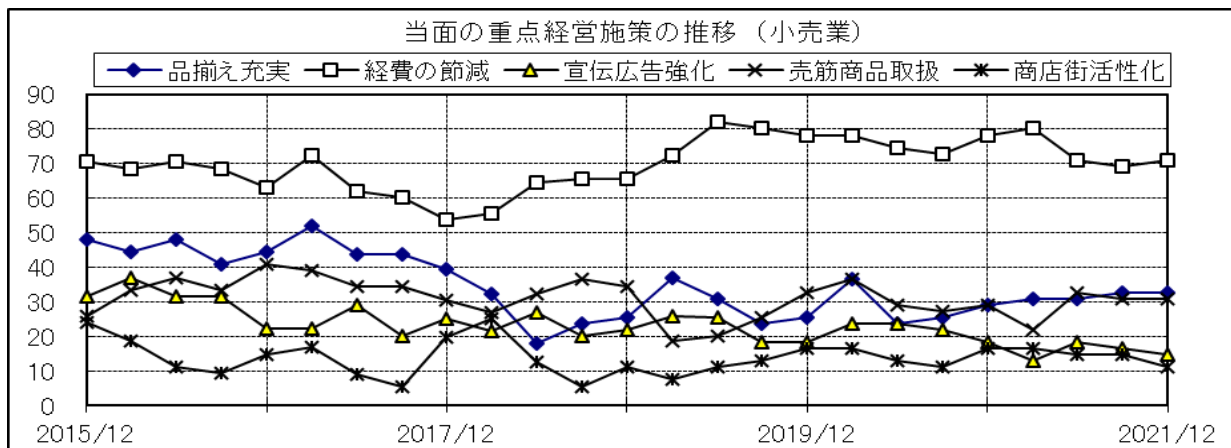
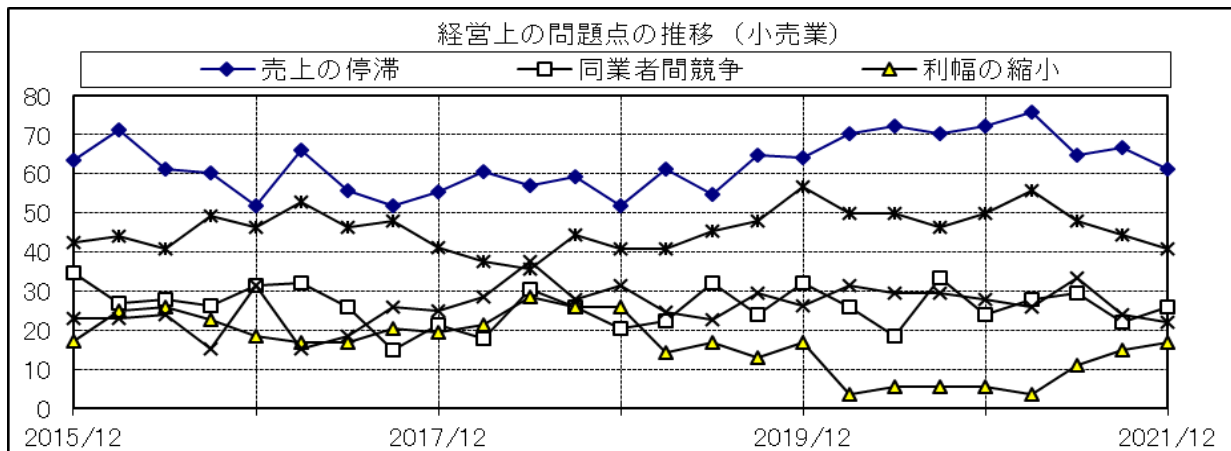
設備投資の充足感を示すD. I. は $\Delta 10.9$ で、前期($\Delta 18.2$)比7.3ポイント上昇した。

設備実施企業割合は18.2で、前期(9.1)比9.1ポイント上昇した。設備投資は、前期5社に対し10社の実施となった。来期の設備投資は、5社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」が61.1%と最も多く、次に「商圈人口減少」40.7%、「同業者競合」25.9%、「大型店競合」22.2%、「値上要請」18.5%、「利幅縮小」16.7%、「商店街集客力低下」13.0%、「人手不足」11.1%、「人件費増加」・「取引先減少」が9.3%、「販売商品不足」「天候不順」・「地場産業衰退」が7.4%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が70.9%と最も多く、次に「品揃え改善」32.7%、「売れ筋商品取扱い」30.9%、「人材確保」16.4%、「宣伝広告強化」14.5%、「店舗設備改装」12.7%、「商店街活性化」10.9%、「仕入先開拓選別」9.1%、「新事業開始」・「教育訓練強化」が5.5%となった。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は $\Delta 56.3$ と、今期比1.7ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D. I. は $\Delta 40.4$ と、今期比1.5ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断D. I. は $\Delta 41.9$ と、今期比5.4ポイントの上昇を見通している。

予想販売価格判断D. I. は16.4と、今期比10.9ポイントの下降を見通している。

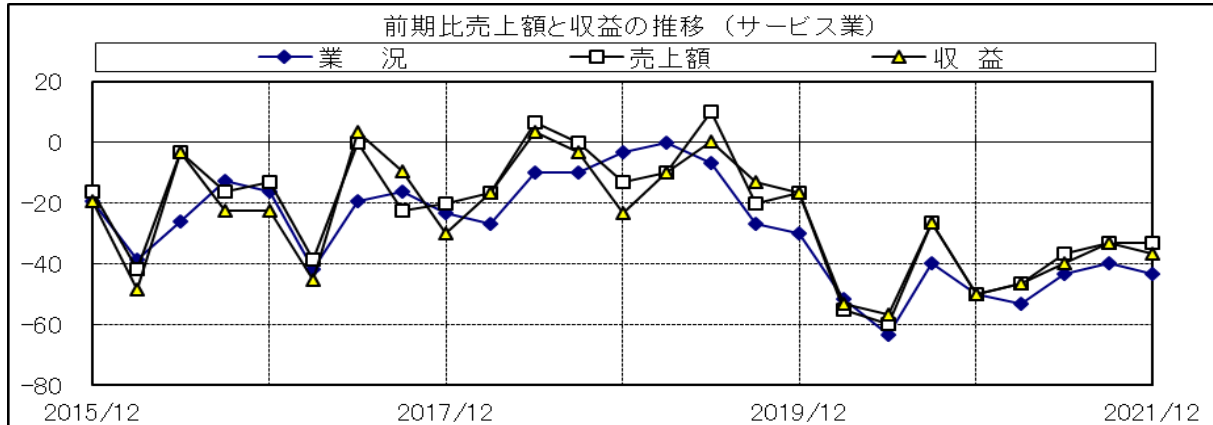
予想仕入価格判断D. I. は34.6と、今期比7.1ポイントの下降を見通している。

サービス業 30 企業（回答率 100.0%）の調査結果です

□ 概 況

| DI 値 の推移 | 4～6 月 期実績 | 7～9 月 期実績 | 10～12 月 期実績 | 1～3 月 期見通し |
|-------------|--------------|--------------|----------------|---------------|
| 業 況 | -43.4 | -40.0 | -43.4 | -46.6 |
| 売上額 | -36.7 | -33.3 | -33.3 | -36.7 |
| 収 益 | -40.0 | -33.3 | -36.7 | -43.3 |

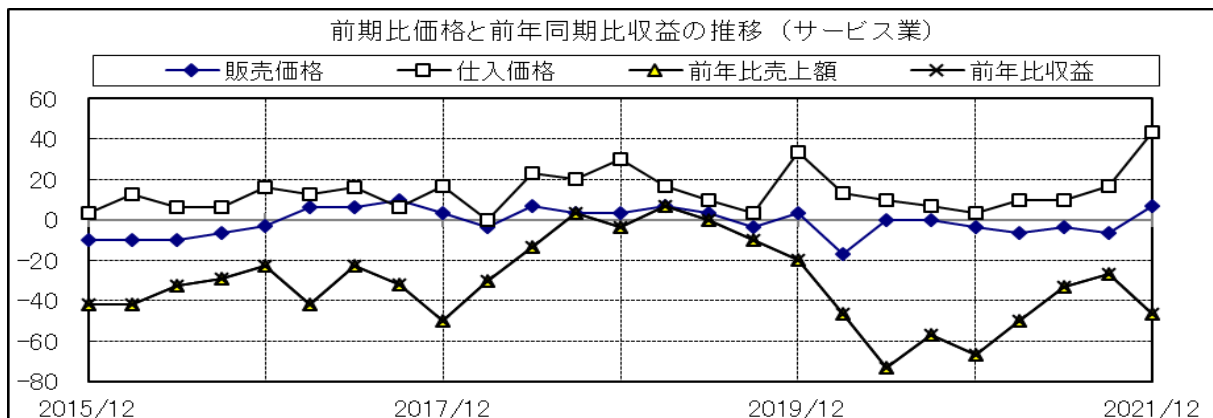
今期の業況判断 D. I. は $\Delta 43.4$ で、前期比 3.4 ポイント下降し、前年 ($\Delta 50.1$) 比 6.7 ポイント上昇した。地区別の D. I. は高い順に、静内が最も高く、次に三石、浦河、広尾、様似と続き、えりもが最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は $\Delta 33.3$ で、前期と同水準となった。収益判断 D. I. は $\Delta 36.7$ で、前期比 3.4 ポイント下降した。



□ 価格面の動きと前年同期に比した動き

| DI 値 の推移 | 4～6 月 期実績 | 7～9 月 期実績 | 10～12 月 期実績 | 1～3 月 期見通し |
|-------------|--------------|--------------|----------------|---------------|
| 料金価格 | -3.3 | -6.6 | 6.7 | 6.7 |
| 材料価格 | 10.0 | 16.7 | 43.3 | 26.6 |

料金価格判断 D. I. は 6.7 で前期比 13.3 ポイント上昇した。前年 ($\Delta 3.3$) 比 10.0 ポイント上昇した。材料価格判断 D. I. は 43.3 で、前期比 26.6 ポイント上昇した。前年 (3.4) 比 39.9 ポイント上昇した。業種別の料金・材料価格は、旅館業、洗濯理美容業、自動車整備業すべてで上昇している。



□ 雇用面の動き

| DI 値 の推移 | 4～6 月 期実績 | 7～9 月 期実績 | 10～12 月 期実績 | 1～3 月 期見通し |
|-------------|--------------|--------------|----------------|---------------|
| 残業時間 | -6.7 | -10.1 | -10.0 | -16.7 |
| 人手状況 | -16.7 | -23.4 | -40.0 | -36.7 |

残業時間判断 D. I. は $\Delta 10.0$ で、前期比 0.1 ポイント上昇し、残業時間が減少したとする企業割合が増えた。

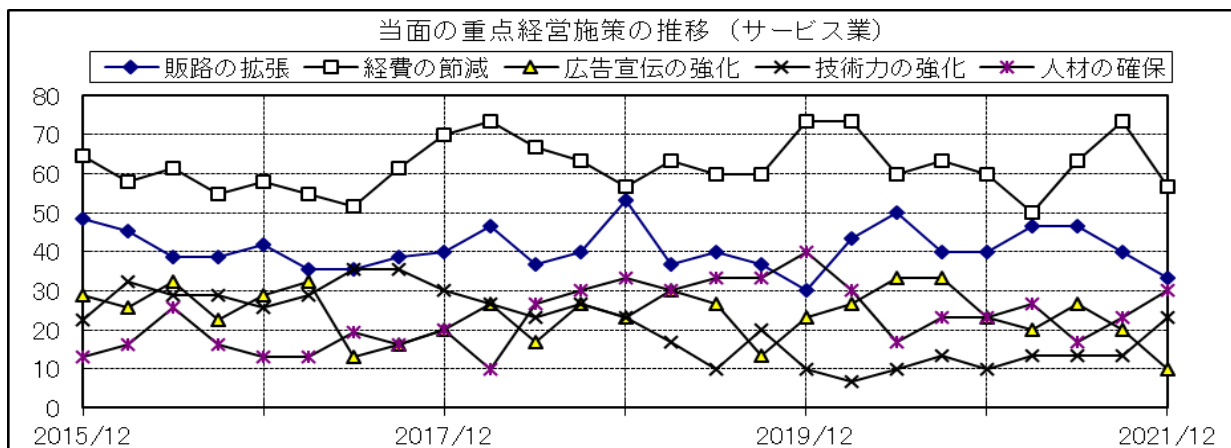
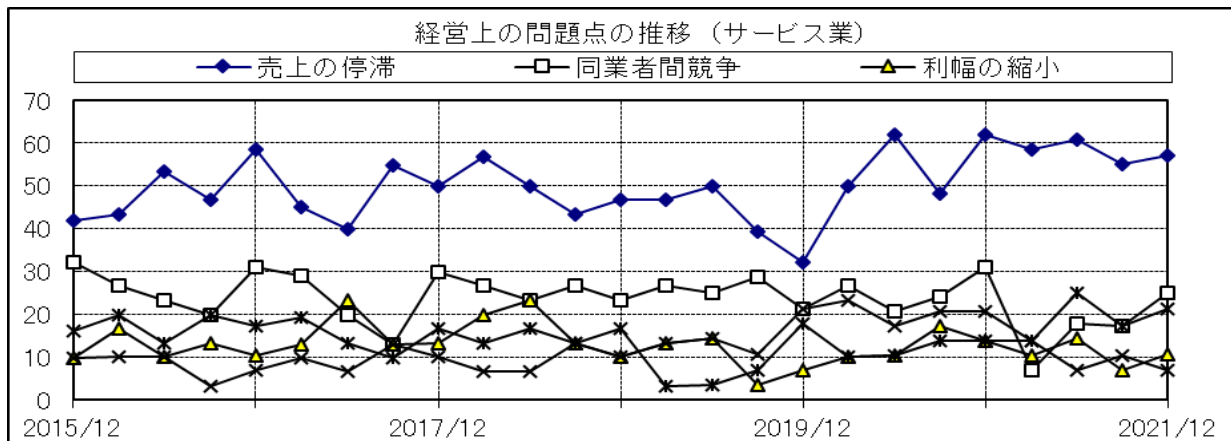
人手過不足判断 D. I. は $\Delta 40.0$ で、前期比 16.6 ポイント下降し、人手不足感は強まった。

□ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すD.I.は $\Delta 13.3$ で、前期($\Delta 20.0$)比6.7ポイント上昇した。
 設備投資実施企業割合は10.0で、前期(16.7)比6.7ポイント下降した。設備投資は、前期5社に対し、3社の実施となった。来期の設備投資は、2社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」が57.1%と最も多く、次に「商圏人口減少」32.1%、「人手不足」28.6%、「同業者競争」25.0%、「地場産業衰退」21.4%、「材料価格上昇」17.9%、「取引先減少」14.3%、「利幅縮小」10.7%、「人件費増加」・「店舗設備老朽化」が7.1%となっている。
 重点経営施策では、「経費節減」が56.7%と最も多く、次に「販路拡大」33.3%、「人材確保」30.0%、「技術力強化」23.3%、「教育訓練強化」16.7%、「宣伝広告強化」・「店舗設備改装」が10.0%、「労働条件改善」6.7%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は $\Delta 46.6$ と、今期比3.2ポイントの下降を見通している。
 予想売上額判断D.I.は $\Delta 36.7$ と、今期比3.4ポイントの下降を見通している。
 予想収益判断D.I.は $\Delta 43.3$ と、今期比6.6ポイントの下降を見通している。
 予想料金価格判断D.I.は6.7と、今期と同水準を見通している。
 予想材料価格判断D.I.は26.6と、今期比16.7ポイントの下降を見通している。